

す・とうぶだより

2020-09月号

長すぎた梅雨!

6月下旬より7月の末まで、雨、雨、雨で大変でしたね。なんでも観測史上、初めての「台風のない7月」だったそうですよ。

今年は何期終了に向け、自分ひとりでごまを栽培することになり、GWから休みも返上してひたむきに頑張っているのですが、今回の長雨はたいそう堪えました。

雨上がりにトラクター掛けしてから晩生の植え付けをしようとして6月の真ん中くらいから狙っていたのに、それがまさか8月前になつてしまふとは誰が予想できたでしょうか(笑)。

さらに雨で作業できなかつた期間のしわ寄せが8月の猛暑に偏つたりで、現在もてんてこまいだったりします。

でも楽しいのですべてよし。明日もがんばります。(加藤)



雨を受けて
もりもり育つ
えごま



畑の横に
置いてある巣

永続可能な環境を作るための農業であるパーマカルチャーでは、コンパニオンアニマルと言って、動物や昆虫に受粉や除草等を助けてもらう仕組みづくりを行います。

今回はクロマルハナバチの巣づくりに行ってきました。

材料は木材と笹のみ。木材は長方形の箱を作り、屋根を作ります。箱の中に小ささまざまな穴を開け、笹をセットします。

様々な大きさの笹を使うことで、クロマルハナバチの多様性のある住処を作り出します。

来月にはハチが入っている模様です。

昆虫だけでなく、様々な生態系を知り、最大限生かせるような農的な暮らしが出来ればと思っています。(青野)

ハチの巣づくり

ワークショップ!

とやま民泊ツアー和紅茶

7月25日さとやま民泊ツアー「和紅茶づくり体験」を開催しました。検温・アルコール消毒・マスク着用等、新型コロナウイルス対策に細心の注意を払いながらの実施となりました。

梅雨明けが遅れたため、直前まで天気が心配でしたが、ほぼ曇りで雨の止み間に、夏野菜の収穫や茶摘みの体験もすることが出来ました。

高台の茶畑に上ると、吹く風が気持ちよく感じられます。

茶葉の発酵を待つ間に、茶工場の見学をさせていただき、緑茶が出来上がる過程や、お茶農家さんの作業について教えていただくことが出来ました。

奈良市東部地域のことを体験を通じて知っていただくことで、地域のファンづくりに繋がることを目指しています。(松村)



(上)高台の茶畑で茶摘み
(下)茶葉を細かくちぎって
その後、揉んで発酵
させます